



園児たちに模範試合を披露する川崎八段(左)と岩堀七段(右)。8日、福井市湊4丁目の社中央第一こども園

川崎前名人動き「はやっ」

社中央第一、第二こども園

かるた披露 園児歓声

福井市の社中央第一こども園と同第二こども園の新春かるた大会が8日、同第一こども園で開かれた。競技かるたの前名人、川崎文義八段(32)と妻の岩堀聡美七段(34)とともに越前市、福井渚会Ⅱが訪れ、年長児約40人に模範試合を披露。園児は川崎八段らの目にもとまらぬ素早さに、歓声を上げながら見入っていた。

福井市の社中央第一こども園と同第二こども園の新春かるた大会が8日、同第一こども園で開かれた。競技かるたの前名人、川崎文義八段(32)と妻の岩堀聡美七段(34)とともに越前市、福井渚会Ⅱが訪れ、年長児約40人に模範試合を披露。園児は川崎八段らの目にもとまらぬ素早さに、歓声を上げながら見入っていた。

模範試合の前には、両こども園のかるた大会の準決勝、決勝がそれぞれ行われた。園児たちは狙った札を見つけると「はいっ」と元氣よく手を伸ばした。優勝した同第一こども園の高江州ゆづちゃん(6)、同第二こども園の中井大夢ちゃん(6)は「札を取れるのが楽しかった」「優勝できてうれしかった」と笑顔を見せた。川崎八段は「かるたを通して、何事にも最後までやり遂げる、諦めない気持ちを手伝ってほしい」と話していた。(石川悠樹)

毎年恒例行事で、本格的な競技かるたに触れても